

Viva 連絡会

2017年5月号 Vol.4



<発行元>

特定非営利活動法人

長野県宅老所・グループホーム連絡会事務局

〒386-0018

長野県上田市常田3-4-14 第二陽光ハイツ

tel. 0268-75-7383 / fax. 0268-29-1021

mail : nagano-taku-gh@bz03.plala.or.jp

url : <http://www.nagano-taku-gh.jp/>

◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

長野県宅老所・グループホーム連絡会 理事 松本徳弥

会員の皆様、お元気ですか？
「元気であるわけないだろうっ！」「必死だよー。」
「何とか頑張っています。」「…。」などの声が聞こえてきそうです。無理ありません。
私は老人介護、障がい者支援の現場に30年います。
老人保健法に「ん？」、介護保険に「ん？」、地域包括ケアシステムに「ん？」、我が事まるごと「ん？」と感じながら、社会情勢に対応させた「苦肉の策」の制度の中で、介護と支援を楽しく続けてきました。
私達は、現場の声、当事者の声を行政に届けながらも、現場で行われる良質な介護・支援を通して、制度への理解を地域に広めていかなければならない事を忘れてはなりません。そして何があるうと「その人らしさ」を支える良い介護・支援とは？と常に自分達に問い続けなければなりません。
「良い介護とは？」「良い支援とは？」この連絡会でそれを仲間と悩むことが出来たら、一緒に勉強出来たらと、心からそう思います。
さあ、宅老所ステップアップ計画が始まります。より多くの現場のスタッフが、研修に参加出来ることを心より願っています。共にネクストレベルまでステップアップしましょう。そしてこれからも、楽しく素敵に元気に、介護・支援を続けていきましょう。この連絡会の会員は、どこよりも当事者・家族の想い、そして地域を大切にしている必要な存在なのですから、「明日の風に吹かれない」ぐらいの心意気で行きましょう。

連絡会 NEWS

◆ 「こどもカフェ」を考えるシンポジウム

2月26日 松本大学

◆ 平成29年度通常総会・全体研修

5月14日 豊科公民館

◆ 小規模多機能部会について

◆ 平成29年度宅老所ステップアップ計画

「こどもカフェ」を考えるシンポジウム に参加して

石網秀行 「和久井亭」管理者（地域密着型通所介護 + 『いろいろ』 栃木県鹿沼市千渡 1949-64）

長野県宅老所・グループホーム連絡会会員のみなさまはじめまして。

栃木県の中心部宇都宮の西に位置する鹿沼市にて地域密着型通所介護事業を行っています。和久井亭の石網秀行と申します。この度はシンポジウムにお招きいただきましてありがとうございました。長野県は第2のふるさと。学生時代、長野で過ごした日々は忘れません。

さて、長野県の地域カフェの取り組みは、地域課題を介護サービス事業所が県と協働で取り組もうとしている先進的な事例であると感じます。

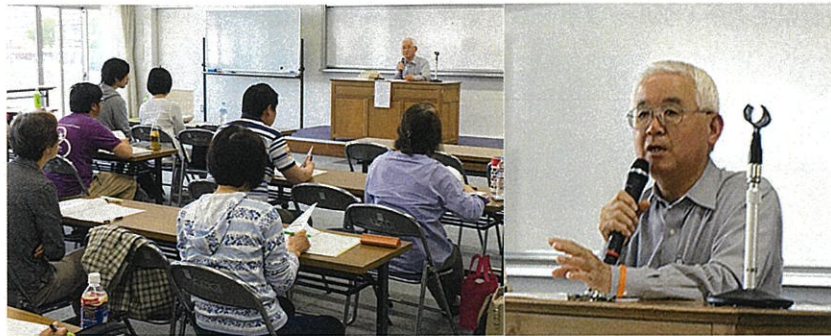
地域ド密着を目標にはじめた「和久井亭」ですが、開所数年は閑古鳥が鳴いていました。地域と共に！って私達は簡単に言うんですけど、近所のおじいさんが駄菓子屋を手伝ってくださったり、近所の畑を無料で貸して頂いたり、引きこもりの人と農作業を始めたり、食事時になるといろんな人が集まってお昼を食べるようになったのは最近の事なのです。

私共が行っている「こども食堂的」な活動は、活動地域における（引きこもり + 貧困）への対策として、事業所が出来る範囲で行ったものです。利用している人は現在2名であり、決して広域的に行っているものではありません。しかし、その2人の実践がやがて、町内、市内に広がりいろいろな場所で形を変えながら少人数を支える仕組みが出来ればよいと思っています。

最後に長野県宅老所・グループホーム連絡会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を祈念しております。ありがとう長野県！大好きです長野県！ ☆Facebook「和久井亭 石網」で活動の様子をご覧ください。



平成29年度通常総会・全体研修 開催されました



通常総会後の全体研修会に於いて、群馬県の田部井康夫さんをお招きして「民間デイ・宅老所の歴史から今を考える」というテーマで田部井さんの34年間の取組について、講義をしていただきました。

「先駆的な取り組みが制度化される福祉が前進する流れは途切れた?」「財源難を理由に給付抑制、負担増が続く介護保険制度」「政治の劣化と財源難に抗する道はあるのか?」などの今後の課題提起がありました。

小規模多機能部会 について

山田聡 当連絡会理事 有限会社宗明会（安曇野市）

「小規模多機能型居宅介護事業」は、通い・泊まり・訪問を自在に組み合わせ、自宅や自宅に代わる住まいで、その人らしい生活を営むことができるようサポートする介護保険サービスです。通い・泊まり・訪問、複数のサービスを1事業所で行う構成ゆえに理解するのが難しいと言われる小規模多機能。実は運営側でも日々悩みながら各地域で活動されている事業者が多いのが現状です。

長野県宅老所・グループホーム連絡会には、3つの部会（宅老所部会・グループホーム部会・小規模多機能部会）があります。

今回は、平成28年度の小規模多機能部会での勉強会兼視察会活動（研修会）についてお話しします。

「会員の小規模多機能型居宅介護事業所の情報の共有や交換・学びあい・横のつながりを強め、事業所の質の向上・仲間創り」を目的として、2か月に一度のペースで行ってまいります。①連絡会所属の事業所見学→②見学の後に事業所の特長や取り組みを教えてください→③その内容も踏まえながら各事業所の悩みや課題を皆で相談しあう。約2時間としているこの研修会は、運営手法や課題・悩みを仲間と相談しあうと盛り上がりすぎてしまい、ついつい時間を超えて熱く語り合ってしまう。

平成28年度は5事業所を見学させて頂きました。それぞれの事業所様においては、忙しい中また運営中にも関わらず早く見学させて頂きました。とても勉強になりました。ありがとうございます。

地域密着型の介護サービスですので、保険者や地域で考え方やニーズが当然違います。小規模多機能型居宅介護は、もともと宅老所がニーズと制度の間の中で、地域で困っている方を支えてきたことが評価されて制度化された事業です。「宅老所魂」は小規模多機能の根源であり、見学先の事業所は皆そのベースになる精神を強く感じる事ができました。サービスの理解が難しい小規模多機能だからこそ、がんばっている事業所でお互い励まし、情報交換し助け合いながらこの視察会兼勉強会を続けていきたいと思っております。会員の皆様には、連絡会未加入の事業者様にぜひとも入会のお声がけをお願い申し上げます。

宅幼老所ステップアップ計画

（長野県 宅幼老所機能強化補助事業）

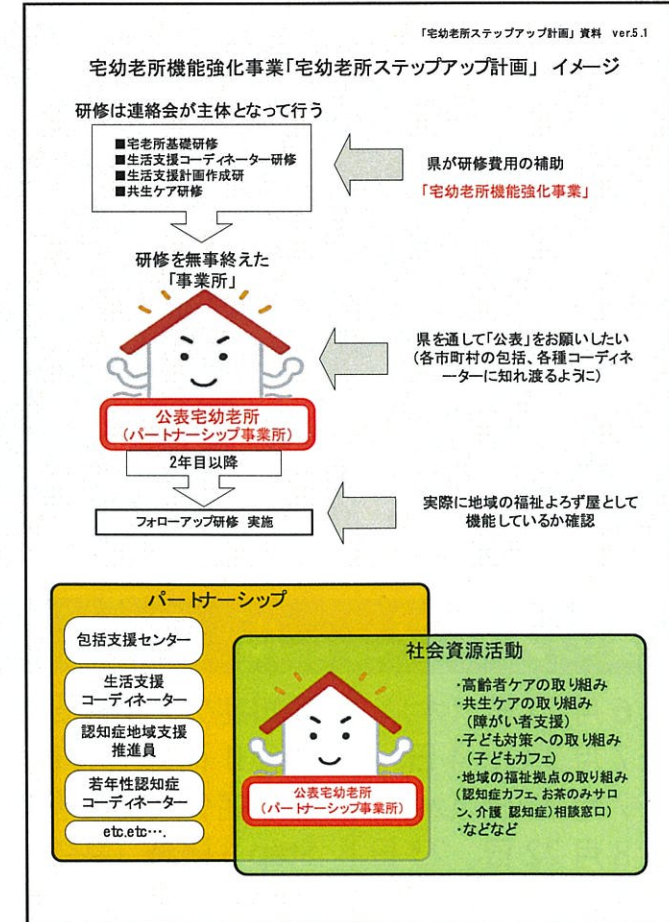
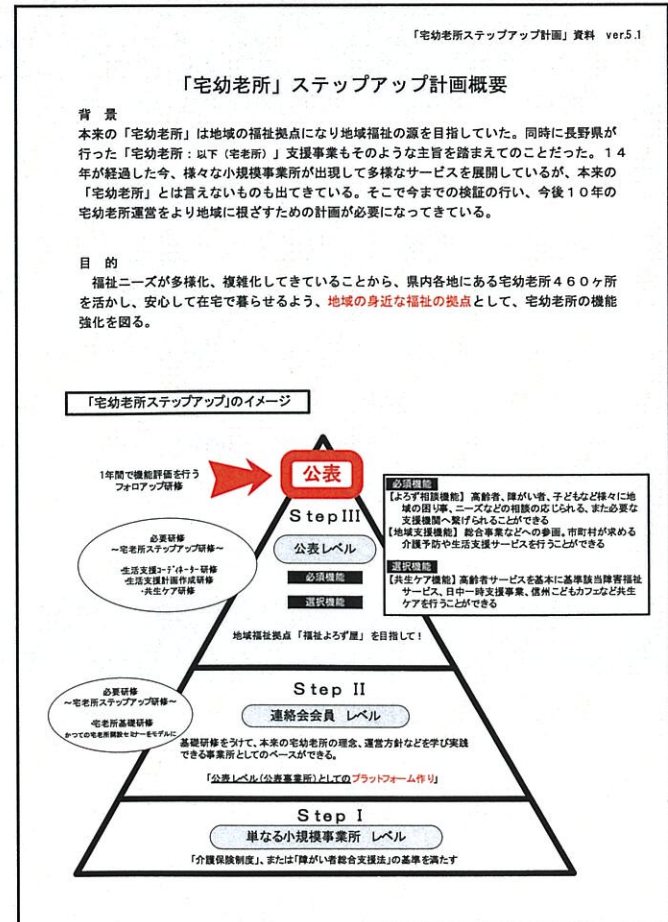
始動!

5月14日に行われた通常総会で正式に事業が可決され、連絡会の研修事業としてスタートします。これは、長野県の補助事業「宅幼老所機能強化補助事業」としても県から認められている事業です。

1年間通して、以下の研修を受講していただくと、長野県の公表事業所として登録されます。また、この研修は通所事業所ばかりでなく、グループホーム、小規模多機能の事業所も対象となっています。

※「宅幼老所機能強化補助事業」とは、よろず相談機能基礎研修、よろず相談機能応用研修、プラン作成研修の三つの機能強化研修が含まれています。

Step II 研修（地域） 5時間 × 1日間 講師 宮島渡氏	長野会場 7月3日（月） 塩尻会場 7月4日（火）
Step II 研修（共生） 5時間 × 1日間 講師 惣万香代子氏	長野会場 8月22日（火） 塩尻会場 8月23日（水）
Step II 研修（認知症） 5時間 × 1日間 講師 田中正廣氏	2会場、9月に実施予定
Step III 研修（計画作成研修） 5時間 × 3日間 講師 宮島渡氏、原山直人氏	会場未定 開催日 10月18日、11月15日、12月21日
Step III 研修（共生ケア研修） 5時間 × 3日間 講師 福岡寿氏、惣万佳代子氏、松本徳弥氏 他	会場未定 開催日 1月26日、2月15日、3月
Step III（生活支援コーディネーター研修） 長野県主催実施	未定



リレー特集 南信会員の取り組み

法人名 **特定非営利活動法人 わだの家**

事業所名 **グループホームわだの家**
(認知症対応型共同生活介護・共用型認知症通所)

〒399-1311 飯田市南信濃和田 518-1

tel. 0260-34-5405 fax. 0260-34-5415

e-mail. npowada@mis.janis.or.jp



わだの家は、平成 17 年 4 月に遠山郷と呼ばれる山間僻地の、小さな集落の中に開設いたしました。

まだ認知症に対する知識の乏しい頃で心配はありましたが、地域の人々には温かく迎えられ、以来、理解と協力を戴き、地域の皆さんとともに運営して行くことができました。

また、徘徊等が理由で通所できない家族からの要望があり、平成 20 年 6 月に共用型認知症通所介護を開始しました。

平成 23 年からは、毎月 1 回「ふれあいサロン」を開き、認知症の学習会や、家庭でできる体操等を実施し、地域の方々に少しでもお役に立てればと思っています。

わだの家は、自然環境にも恵まれ、のびのびと生活しております。庭には、知らない間にいろいろな花木が植えられていたり、草取りをして戴いたり、地域の人達の憩いの場にもなっています。



晴耕雨読ではありませんが、天候が良ければ庭に出て、近所の人たちとも一緒になってお茶や食事を楽しみ、周囲には借り地の畑が 4 枚もあり、農作業をすることも頻繁です。若い職員はほとんど農業を知らないのですが、お年寄りに笑われながら教わる事が多いのですが、収穫の喜びは格別です。

今後のスケジュール

6月22日(木)	認知症ケア初級研修(南信 in 宮田村民会館)
7月3日、4日	Step II 研修(地域)
7月20日(木)	認知症ケア初級研修(北信① in 更埴文化会館)
8月22日、23日	Step II 研修(共生)
9月	Step II 研修(認知症)